

I. 平成30年度の実績

グループ名称	くまもと未来の住宅を考える会				
H30採択グループ番号	07	—	0522	—	0748

A H30年度にグループとして力を入れた取組み

内容	平成30年度は、ホームページを開設した。グリーン化事業の内容や、私たちの思い、会員様を紹介し、新着情報では、実績報告の締め切りや報告時の注意点など、情報の発信・共有に努めた。(kumamotomirai.net) その他、長期優良住宅のセミナーや、構造見学会、新年会を行い、施工事業者間で、スキルアップと意見交換が行われた。
----	---

B 各種説明会・研修会の実施について

① 事業	事業実施説明会	有	開催日	2018/07/23	名称	くまもと未来の住宅を考える会 H30年度総会	●
	内容	熊本市流通情報会館に於いて、総会を開催した。その際に、事業報告、収支報告の役員紹介の他、平成30年度のルールの変更点、注意点について説明をした。また、総会では平屋プロジェクトとして、賛助会員のメーカーにご協力いただき、長期優良住宅の平屋プランを提案した。					
② 消費者	消費者説明会 1	有	開催日	2019/01/26	名称	構造見学会	●
	内容	株式会社草原住宅様の現場にて、構造見学会を開催された。事務局からも一般の方、会員にも呼びかけた。					
	消費者説明会 2		開催日		名称		
③ 工務店	工務店研修会 1	有	開催日	2019/01/17	名称	長期優良住宅リフォームセミナー	タイプ 座学 ●
	工務店研修会 2	有	開催日	2019/02/26	名称	今後の住宅動向について	タイプ 座学 ●
	工務店研修会 3	有	開催日	2019/03/14	名称	プレカット工場見学会	タイプ 見学会 ●
	工務店研修会 4		開催日		名称		タイプ
	工務店研修会 5		開催日		名称		タイプ

C 未経験工務店へのサポートの実施について

取組み①	サポートの有無 1	有		●
	内容	「田中お役立ち瓦版」やホームページにて、省エネルギー研修の開催時期や補助金に関しての情報をお知らせした。		
取組み②	サポートの有無 2	有		●
	内容	初めて長期優良住宅等の認定を取得される方には、一級建築士事務所mas design、認定低炭素住宅、BELSを取得される方には、ナイス(株)サポートセンターを紹介し、認定取得サポートをお願いしている。補助金の申請書類のサポートについては、事務局が行う。		
取組み③	サポートの有無 3			
	内容			

D 住宅履歴情報の蓄積について

① 履歴情報預り証の発行件数	発行済	8	発行予定	8
② 住宅履歴情報の保管先	情報サービス機関	機関名	プロパティオン いえかるて	

E 工務店の廃業時のバックアップ体制について

① 施工構成員の廃業に対する体制	有	
内容	事務局にて、代替施工構成員を斡旋する。	
② H30年度における施工構成員の廃業	無	
対応内容		

F 住宅の省エネルギー化に向けた取組み

省エネ化に対する取組 ①	有	
内容	「田中お役立ち瓦版」で、熊本建築士事務所協会の省エネルギー施工研修・設計研修、その他インスペクションの研修の時期をお知らせした。	
省エネ化に対する取組 ②	有	
内容	数年前から、弊社で取扱う各メーカーの断熱材の仕様の一覧を、ラミネートして配布している。会員には「お薦め建材ガイド」を配布している。	
BELS工務店の登録数	9 社	

I. 平成31年度の取組みの計画

(1) グループの信頼性と技術力の向上に向けた取組みの計画

グループ名称	くもと未来の住宅を考える会				
H30採択グループ番号	07	—	0522	—	0748

A 各種説明会・研修会の実施について

① 事業	事業実施説明会	有	開催日	2019/08/01	名称	くもと未来の住宅を考える会 総会		
	内容	平成31年度も、熊本市流通情報会館にて総会を開催予定。事業報告の他、30年からの変更点、注意点の説明を行う。						
② 消費者	消費者説明会 1	有	開催日	2019/11/16	名称	小国エコツアー		
	内容	熊本県森林局の補助事業に「くもと未来の住宅を考える会」として、応募した。熊本県の地域材のPRに努める活動だが、その一環として、小国町で「エコツアー」と題して、植林体験、伐採見学など、川上から川下までの流れの一部を見学していただくよう計画している。						
	消費者説明会 2	有	開催日		名称	完成見学会・構造見学会		
	内容	構成員の現場にて完成見学会・構造見学会を行う。 熊本の情報誌「すばいす」に広告を出し、広く呼び掛ける。 11月9日には、3年ぶりに弊社の感謝祭「木愛祭」を開催。ブースを設けてグリーン化事業のPRに努める。						
③ 工務店	工務店研修会 1	有	開催日	2019/06/18	名称	旭ファイバーグラス 施工研修	タイプ	座学
	工務店研修会 2	有	開催日		名称	長期優良住宅リフォームセミナー	タイプ	座学
	工務店研修会 3		開催日		名称		タイプ	
	工務店研修会 4		開催日		名称		タイプ	
	工務店研修会 5		開催日		名称		タイプ	

B 未経験工務店へのサポートの実施について

取組み①	サポートの有無 1	有						
	内容	昨年度に引き続き、一級建築士事務所mas design、ナイス(株)サポートセンターと弊社のプレカット部との連携で、スムーズに認定が取得できるようにサポートする。また、補助金の申請書については、事務局がサポートする。						
取組み②	サポートの有無 2	有						
	内容	申請・報告に関する新しい情報は、ホームページに掲載し、発信していく。						
取組み③	サポートの有無 3	有						
	内容							

C 住宅履歴情報の蓄積について

住宅履歴情報の保管先	情報サービス機関	機関名	プロパティオン いえかるて
------------	----------	-----	---------------

D 工務店の廃業時のバックアップ体制について

① 施工構成員の廃業に対する体制	有						
内容	事務局にて代替施工構成員を斡旋する。						

E 住宅の省エネルギー化に向けた取組み

省エネ化に対する取組み (新築)	有						
内容	省エネ義務化に対して数年前から弊社で、各メーカーによる断熱材の仕様をラミネートして、来社される工務店に配布している。また、「お薦め建材ガイド」も会員に配布している。省エネ設計・施工研修に関するセミナーもホームページや、「田中お役立ち瓦版」でお知らせしていく。						
省エネ化に対する取組み (改修)	有						
内容	長期優良住宅リフォームの勉強会を今年も行う。 グリーン化事業の改修については、事業の内容が分かり次第、ホームページや「田中お役立ち瓦版」でお知らせする。						

F 省エネ改修に関する研修の計画

研修計画 ①	有	実施日	2019/06/18				
内容	旭ファイバーグラスの施工研修を計画している。一昨年は、弊社で原寸大の模型を用意して、施工実習を行ったが、今回はDVDによる座学を計画している。グリーン化事業の改修型がこの時点で発表されていれば、同日に説明をお願いする。						
研修計画 ②		実施日					
内容							

II. 平成31年度の取組みの計画

(2) 地域型住宅及び生産体制の整備に関する計画

グループ名称	くもと未来の住宅を考える会			
H30採択グループ番号	07	—	0522	— 0748

A 提案する地域型住宅の特徴

内容	熊本は平成28年に熊本地震がありました。私達が目指す住宅は、「地震に強い家」です。また、熊本は、盆地であるために寒暖の差が激しく、冬は暖かく、夏に涼しい、断熱性能を重視した、省エネルギー住宅に取り組んでいます。
----	---

B 地域材の利用に関する共通ルール

①-1 1棟当たりの主要構造材地域材の使用割合	50%未満	50%以上	■	80%以上	
①-2 地域材の使用部位	② 地域材の利用に関する補足説明				
主要構造材	土台	有	構造材は、熊本県産、及び近隣県産の合法木材を使用する。 また、土台は桧材。間柱は杉のKD材とする。		
	柱	有			
	梁・桁等の横架材等	有			
羽柄材	間柱、根太、垂木等	有			
造作材	枠材、廻縁等	無			
板材	壁板、床板等	無			

C 生産体制の整備と生産性向上に向けた取組み

① 地域材の調達共同化に向けた取組み	有	
内容	田中材木店でまとめて購入する。	
② 建材・特定資材の調達共同化に向けた取組み	有	
内容	田中材木店でまとめて購入する。 平成28年度に作成した、仕様書を再度利用し、間屋、メーカーへの協力要請によりコストを下げている。	
③ 地域材・建材・資材の在庫供給情報の共有化	有	
内容	「田中お役立ち瓦版」で、構成員に伝える。	
④ 施工に関する統一ルール	有	
内容	改修の場合は、インスペクションを行い、基準のルールに準ずる。 省エネ施工に関しては、省エネルギー施工技術講習を受講し、施工技術の共通化を図る。	
⑤ 住宅のメンテナンスに関する統一ルール	有	
内容	維持管理計画に基づき、点検を行う。補修工事の際は、工事前後の写真と関係書類も履歴情報に保存する。履歴管理システム等を使用し、データに残す。施主には、補修時期を自動案内でお知らせする。	
⑥ 施工検査(瑕疵担保責任保険の検査以外)	有	
内容	施工中・引き渡し前の自主検査を2回行う。	
⑦ 見積りに関する統一ルール	有	
内容	項目別に書面で、見積・積算を行う。また、見積書の表紙は、事務局で作成したロゴ入りに統一する。	
⑧ その他の共通ルール	有	
内容	オリジナルロゴ、のぼりを使用し、事業のPRに努める。	

D 効率的で適切な就業環境が確保された住宅生産体制の整備に対する取組み

① 週休2日制の導入の取組	有	内容	週休2日制を目標とする。
② 技能や経験にふさわしい処遇の実現に向けた取組	有	内容	手当による処遇改善を図る。
③ 社会保険への加入	有	内容	社会保険の加入を促す。
④ 建設工事従事者の安全及び健康の確保のための取組	有	内容	年に1回の健康診断の受診を促す。労働時間の短縮に努める。

II. 平成31年度の取組みの計画

(3) 地域の産業・住文化・景観等に関連する計画

グループ名称	くまもと未来の住宅を考える会			
H30採択グループ番号	07	—	0522	— 0748

A 地域の産業・住文化・景観等、和の住まいの取組みに関する対応

番号	有/無	内容
① 畳の活用	有	和室の場合は、熊本県産の畳表を使用する。
② 和瓦の活用	無	
③ 襖・障子の活用	無	
④ 地域の伝統的素材の活用	有	熊本県産の畳表を使用する。

B 地域の住文化に関する取組み

番号	有/無	内容
① 地域の伝統的なデザインの継承	有	熊本は盆地のため、通風のいい家を推奨する。
② 地域の住まい方の継承	有	木受祭にて相談窓口を設ける。 メンテナンス・管理については、住宅性能評価・表示協会の「長く住み続けられる住宅のために」を一般の方に木受祭にて配布する。
③ 地域の街並み形成への配慮	有	森の都熊本といわれるように、美しい環境に合った、緑のある家を提案し、植栽スペースを設ける。また、外構部の木質化対策支援事業も始まるので、安全面、景観面からも、外構の木質化を薦めていきたい。

C 被災地の復興に資する取組み

① 東日本大震災・平成28年熊本地震・平成30年7月豪雨・平成30年北海道胆振東部地震の復興に資する取組み
熊本建築士事務所協会の「くまもと型復興住宅」地域住宅生産者グループに加入。パンフレットでPRをしている。事務所協会から「マッチングサポート」として、施主の依頼を事務局が受け、構成員に呼び掛ける。条件が合えば、施主との打ち合わせに入る。
② 地域型住宅の供給地域において災害等が発生した場合に検討している取組み
グループ内で、連絡を取り合い、ボランティアを行う。